

ふれあいトムともだより No8

鶴牧・落合・南野地域福祉推進委員会

引き続き

テーマは「防災と見守り」で地域づくり

6年前の東日本大震災、昨年の熊本地震と大地震が続いています。ふれあいトムともでは「その時」に備え、自助とともに近助力を高めるための取組みを進めてきました。今年度も引き続き、「防災と見守り」をテーマに地域連携を図る予定です。

<H29年度の予定>

- 7月 鶴牧・落合・南野地域の防災について
お話：多摩市防災安全課職員
- 9月 「その時」どう動くか グループ討議
- 11月 防災まち歩き
- 1月 まち歩きの振り返り

ご存知ですか？ ～多摩市の被害想定～

多摩直下型地震時 (MM7.3) の

○ライフラインの被害想定



停電率	固定電話 不通率	ガス供給 停止率	上水道 断水率	下水道 被害率
13.7%	2.7%	100%	27.6%	22%

○多摩市内の物的被害

建物被害 (1,358 棟) (全壊・全焼)		避難者の発生 (ピーク1日後)	徒歩帰宅困難 者
揺れ	火災		
931 棟	427 棟	33,049 人	39,123 人

<H28年8月ふれあいトムとも講演 多摩市資料より>

= 「その時」に備えた地域の取組みについて

ともに考え合いましょう!! =



講演会のお知らせ

「知って安心、守って安全」

～個人情報とプライバシー～

日時：8月19日(土) 10時～12時

場所：トムハウスホール

お話し：村井祐一 田園調布学園大学教授

H29年5月30日から施行される「改正個人情報保護法」では、自治会・町会・住宅管理組合などが持っている名簿などの個人情報が1件から適用対象となります。

個人情報を安全に管理し、地域活動に活用できるポイントを皆さんで学びます。ぜひご参加ください。

「ふれあいトムとも (鶴牧・落合・南野地域福祉推進委員会)」は、

自治会・住宅管理組合やサロン、民生・児童委員、地域包括支援センターなど様々な団体が情報共有や意見交換を行い、「地域の横のつながり」をつくることで、地域の課題解決や活性化を図る応援をしています。

ゆるやかに“見守りあう”地域に

H28年度後半は、各団体の「見守り」に関する取組みについて学びました。その一部をご紹介します。

=コミュニティから始まる見守り=

～グリーンメゾン鶴牧-3住宅管理組合 吉岡 賢 さん～

15年前に団地の高齢化などの調査をしたところ、5年後には住民の4人に1人が65歳以上となることが分かった。調査結果を踏まえ、理事会のもとに「高齢化対応委員会」を設け、集いの場であるサロンの企画運営や災害時要支援者の対応に取り組んだ。災害時の見守り対応として、60歳以上で希望される人の連絡網作成や、「無事です」のマグネットを全世帯に配布している。

また、棟ごとの懇談の場（名称「よりあい」）を年1回行っている。話し合いの内容も当初のぎこちなさがなくなり肩ひじ張らないものになった。

「ゆるいつながらい・できる範囲で」が活動のコンセプト。団地の居住者は小さな安心感と連帯感を持っているのではないかと思っている。（H28年9月トムともより）



<高齢化対応委員会の活動内容>

●サロン「環の会」の企画・運営

●災害時対応

・防災連絡網

・マグネット

・よりあい

・独居・高齢者夫婦世帯、要支援者の把握



=サロンから始まる見守り=

<始めたきっかけは>

- ・配偶者を亡くされ、不安を感じたり落ち込んでいる近所の方の癒しの場として。
- ・高齢化のなかで、一人ぼっちをなくそうと。
- ・団地住民からの集いの場が欲しいという声で。

<活動の中で>

- ・設立後3年間で1回でも参加した人は全戸の1/4と、多くの参加が得られた。
- ・参加者のひとりに認知機能の低下がみられた。早い段階で分かり、公的サービスにつながった。
- ・サロンが団地の夏祭りや餅つきなども行い、世代間交流が盛んになった。
- ・地域の大学と連携した介護予防体操で、自治会を超えた横の繋がりができた。（H29年1月トムともより）



編集・発行
問合せ

ふれあいトムとも 世話人会
多摩市社会福祉協議会 地域福祉推進課 まちづくり推進担当
多摩市関戸4-72 ヴィータ・コミュニェ7階 多摩ボランティア・市民活動支援センター内
TEL:042-373-5616 FAX:042-373-6629 担当:佐藤・大槻